１０　家庭

学校番号	１０８

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	2
使用教科書	高等学校　新版　家庭基礎　ともに生きる･持続可能な未来をつくる（第一学習社）						
副教材等	スーパーライブビュー　家庭科（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生活に関心をもち、積極的に学んでいきましょう。
・生活の様々な現象や課題をグループ学習・発表等を通して考え、理解を深めていく事が大切です。
　友だちの考えを知り、多様な考え方に触れ、自分の考えを持ちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた技術を身に付けましょう。
・学んだことを自分の問題として捉え、よりよい生活を目指すことを心がけましょう。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて基礎的･基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 調理計画、製作計画、実習記録表、レポート 発表、自己評価等	学習状況の観察 ノートやプリントの考察 調理計画、製作計画、実習記録表、レポート 発表、定期考査、自己評価　相互評価等	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 作品、観察記録表、レポート、発表、定期考査、実技テスト、自己評価 相互評価等	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 調理計画、製作計画、実習記録表、観察記録表、レポート、発表、定期考査等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	高齢社会と福祉	高齢社会の現状と課題 高齢者の心身の特徴 高齢者の暮らし ・高齢者に関する実習 高齢者を支える社会の仕組み	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○	a：高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決を目指して考え、表現している。 c：車椅子実習を通して、高齢者と適切に関わり、自立生活を支える技術を身に付けている。 d：高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ノート プリント 実習レポート 発表
	子どもの発達と保育	子どもの育つ力を知る 親として共に育つ 子どもの発達と保育 ・保育に関する実習 ・保育所実習（9～11月）	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ 	a：子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決を目指して考え、表現している。 c：子どもと適切に関わることができ、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d：子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ノート プリント 実習レポート 発表
		1学期　期末考査		○		○		定期考査

2	食生活の科学と文化	食品の安全と衛生 調理の基礎 ・調理実習　２回 食生活の管理と健康 食事と栄養・食品 ・食生活に関する実習 食文化	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に興味を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見出し、その解決を目指して考え、適切に判断して表現している。 c：生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 d：栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して化学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ノート プリント 実習レポート・作品 発表
		２学期　期末考査		○		○		定期考査
3	住生活の科学と文化	住生活について考える ・住居に関する実習 住生活の計画と選択 これからの住生活	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a：住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c：安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d：住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ノート プリント 作品 発表
		学年末考査		○		○		定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。